

2018年4月3日

トヨタ自動車株式会社
パーク24株式会社

トヨタとパーク24、 東京都内におけるカーシェアリングサービスの トライアル実施に関する合意書を締結

—新たなモビリティサービスを実現するための連携検討を開始—

トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、社長：豊田章男、以下、トヨタ）とパーク24株式会社（本社：東京都千代田区、社長：西川光一、以下、パーク24）は、東京都心の一部におけるカーシェアリングサービスの業務提携を開始します。「移動の自由や楽しさ」と「安全・安心な移動」を誰もが享受できるモビリティ社会の実現に向け、トヨタのモビリティサービスプラットフォーム（MSPF）を活用した新たなサービス開発を視野に入れたトライアル実施に関する合意書を締結しました。

自動車業界が100年に1度の変革期にある中、クルマは従来の「所有」だけでなく、カーシェアリング等の「利活用」のニーズが高まっています。

両社はこれまで、すべての人が自由に楽しく移動できるモビリティ社会を実現したいという共通の志のもと、2015年4月からパーソナルモビリティを活用したシェアリングサービス「Times Car PLUS TOYOTA i-ROAD Drive」、「Times Car PLUS × Ha:mo」といった実証実験を実施するなど、新しい都市型交通ネットワークの構築による自由な移動の提供、低炭素で快適な都市・まちづくりへの貢献に取り組んできました。

今回の取り組みは、さらなる連携強化を視野に入れたトライアルの位置づけで、パーク24のカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の対象車両にトヨタの通信型ドライブレコーダー「TransLog」や両社のカーシェアリング機器を搭載します。車両数2万台以上、会員数90万人以上を抱える「タイムズカープラス」の運営を通じてパーク24が構築したカーシェアリングサービスのオペレーションシステムをベースに、トライアルから得られた情報をMSPFの構築・機能拡充につなげるとともに、両社のノウハウを活かしながら、将来のモビリティサービス、および車載端末・システム開発に向けてトヨタとパーク24で検証を行います。これにより、車両の安全性向上、および車両メンテナンスの効率化・無人化の推進などにつなげていきたいと考えています。

なお、4月に立ち上がるトヨタモビリティサービス株式会社（本社：東京都中央区、社長：村上秀一（トヨタ常務役員））も連携し、同取り組みを推進します。本トライアルに使用する車両は「TOYOTA C-HR」60台、期間は2018年6月から2019年3月末までの10カ月間を予定しています。

これまでの取り組みやこの度のトライアルを含め、未来を変えるパートナーとして、トヨタとパーク24は共同で新たなモビリティサービスを創造し、社会に貢献していきます。

【トライアル実施概要】

1. 期 間	2018年6月～2019年3月末
2. 検 証 事 項	車両に搭載した車載器により各種情報を取得・活用し、オペレーション効率や安全性の変化について検証する。蓄積した情報はビッグデータとして管理し、情報分析に AI を活用することで精度・効率の向上を図る。
3. 実施エリア	東京都内
4. 導 入 車 種	TOYOTA C-HR
5. 台 数	60 台

以上